

**平成30年度 第2回 佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会
議事録**

〔会議概要〕

日時	平成30年 8月17日（金）午後2時から午後2時55分まで
場所	佐倉市役所社会福祉センター3階中会議室
会議次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>（1）平成29年度介護保険事業の実績について</p> <p>（2）介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の整備について</p> <p>（3）小規模多機能型居宅介護事業者の指定について</p> <p>3. 閉会</p>
出席委員 （12名）	<p>会長：岩淵康雄（医師）</p> <p>副会長：深沢孝志（社会福祉協議会）</p> <p>委員：秤屋尚生（歯科医師）、栗生和明（民生委員・児童委員）、 住吉アキ子（ボランティア団体）、川崎順子（高齢者クラブ）、 大嶋和俊（施設介護サービス事業者）、 大野哲義（在宅介護サービス事業者）、國本幸栄（公募市民）、 根本弘子（公募市民）、村田修造（公募委員）、松井強（公募市民）</p> <p>※欠席委員：1名（鈴木委員）</p>
事務局	<p>福祉部：佐藤部長</p> <p>高齢者福祉課：小林課長、関口主幹（生きがい支援班長）、 山本主査（包括支援班長）、緑川副主幹（包括ケア推進班長）、 平岡副主幹（介護給付班長）、籠橋主査（介護資格保険料班長）、 菅澤主査（介護認定班長）、伊藤主査補（介護給付班）、 矢島主査補（生きがい支援班）</p>
その他	傍聴者0名

【議事録】

発言者	内容
<p>○高齢者福祉課長（小林）</p> <p>□会長</p>	<p>ただいまより、「平成30年度第2回佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会」を開催します。</p> <p>なお、本日の会議ですが、議事録作成のために録音していますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>議事に入る前に、配布資料を確認します。事前に送付したものが、会議次第と資料1「平成29年度佐倉市介護保険料納付状況」、また、本日配布したものが、資料1-2「平成29年度佐倉市介護保険事業の実績について」、資料2「平成30年度特別養護老人ホーム整備法人公募関係資料一式」、資料3「小規模多機能型居宅介護事業所の指定について」となります。</p> <p>では、ここからは、佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会設置要綱第7条第1項の規定に基づき、会長に議長をお願いします。</p> <p>規定により、会長が会議の議長を務めることとなっていますので、私のほうで進行させていただきます。</p> <p>まず、当懇話会の設置要綱第7条第2項により、「委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない」とありますが、委員の過半数が出席していますので、会議は成立します。</p>
<p>□会長</p> <p>○高齢者福祉課（籠橋）</p> <p>○高齢者福祉課（平岡）</p> <p>□会長</p> <p>□A委員</p>	<p>では、議事に入ります。議事（1）「平成29年度介護保険事業の実績について」、事務局から説明をお願いします。</p> <p>介護資格保険料班の籠橋です。平成29年度介護保険料収納状況について、説明します。</p> <p>〔資料1「平成29年度佐倉市介護保険料納付状況」に基づき説明〕</p> <p>介護給付班の平岡です。平成29年度介護保険事業の給付実績について、説明します。</p> <p>〔資料1-2「平成29年度佐倉市介護保険事業の実績について」に基づき説明〕</p> <p>ただいまの説明に対して、ご意見やご質問等がありましたらお願いします。</p> <p>給付費は、計画値より実績値が低くなっているが、これに対して、利用者からクレームとか、サービスが受けられないなどの意見はどれくらいありますか。なければ計画値が過大だったということで、費用もかからなくていいのですが、サービスがないなどの不平や不満みたいな話はありませんか。</p>

発言者	内容
○高齢者福祉課（平岡）	<p>今まであった定期巡回・随時対応型訪問看護介護と夜間対応型介護が相次いで休止となり、利用者から困っていると相談が寄せられました。ケアマネを通じて代替サービスの紹介等をしましたが、今後も引き続き再開を呼びかけていきたいと考えています。</p>
□A委員	<p>ほかの訪問介護にしてもショートステイなどにしても、計画値より下がっている。その点について利用者から不満の声はないのですか。なければ計画が過大だったということになるのではないかと思います。</p>
○高齢者福祉課（平岡）	<p>短期入所については、お盆や年末年始などに入れないとの声は聞きます。現状、困ったときにいつでもすぐ使えるという状況ではないため、十分に供給されているとの認識は持っていません。</p>
□A委員	<p>意見なのですが、お盆だとかお正月だとか家族に急用ができたとき、ホテルみたいに使える施設、予備というか空けておく対応について、佐倉市独自の助成みたいなものを考えてみてはどうでしょうか。施設側は、休日とかには絶対空けないですよ。だから必ず1～2床空けてということになれば、施設を整備するよりもいいのではないかなと思います。経営的な問題もあるし、本来のショートの意味からは外れるのですが、佐倉市独自のものを検討してみてはどうかという一つの意見です。</p>
□会長	<p>たしかにそういうのがあれば便利ですよ。ただ、施設側としては空けておいたら損になるし、サポートがない限り無理ですよ。</p>
□B委員	<p>病院などでは待機ベッドという制度もある。船橋市は、緊急ショート用の特養ショートの確保のようなこともしている事例もあるようなので、今後に向けて方策を検討してほしいと思います。</p>
□C委員	<p>これだけの資料が直前に配布されて、どういう意見がありますかと言われても、その場で目を通して即答できるかということ、検討の時間も余裕もないので、マル秘じゃなければ、事前に送付してもらって、資料を確認してというように改善はできないのですか。</p>
○高齢者福祉課（平岡）	<p>今回、資料作成が遅れてしまい、当日の配布となりましたが、以後はできる限り事前に送付できるよう準備します。申し訳ありませんでした。</p>
□A委員	<p>介護保険料の未収入の原因ってどういう形のものなのですか。保険料って年金から天引きされていますよね。どういったことから発生するのですか。</p>

発言者	内容
○高齢者福祉課（籠橋）	<p>お話しのとおり、ほぼ90%以上の方が年金から天引きのため滞納となることはないのですが、年金から天引きできない場合に滞納が生じています。</p> <p>理由としては、納めていただけない方のほか、65歳になった年度に、今までは健康保険と一緒に保険料を納めていただいていたのが、個別に保険料を納めていただくことになるため、今までどおり納めたと勘違いされる方、あとは転入してきた方が多いです。</p> <p>本年度については、誕生日を迎える前月に発送する保険証に、口座振替依頼書を同封し、口座振替に登録をしていただければ、年度当初から指定の口座からの引き落としが可能で、忘れずに保険料を納められるということでご案内をしています。</p>
□A委員	<p>悪質な人はいないということでもいいのかな。たしかに今の話で理解できました。社会保険入っていたのが、65歳になって会社辞めて、社会保険から国民健康保険に入ると、半年分の5万4千円とかを納めてくださいよって来るのですよね。そのときの5万4千円、これ何だと放っておくというような話を、実際聞いていますので、あるのかなと納得しました。</p> <p>基本的に絶対どうしても払わないという、悪質な税金の滞納者のようなのは意外と少ないのですか、それともあるのですか。あくまでも年金天引きだから100%収入があつていいはずだと思っていたけど、それが入っていないということは、何か原因がほかにあるのかなと、それがあたかも行政が悪い、仕組みが悪いようなことを言っているような一部の人からの声があったので、何かそこに原因があるのかなと思ったものですから。</p>
○高齢者福祉課（籠橋）	<p>悪質な方がいないかと言われると、それは皆無ではないかもしれませんが、本当に生活が困窮していて納めることが難しいという方もいて、その場合は、保険料の納め方の相談等についても対応させていただいています。</p>
□会長	<p>ほかにご意見はありませんか。なければ次の議事に移りたいと思います。</p>
□会長	<p>議事（2）、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の整備について」、事務局から説明をお願いします。</p>
○高齢者福祉課（平岡）	<p>介護給付班の平岡です。平成30年度特別養護老人ホーム整備法人公募の概要を説明します。</p> <p>〔資料2「平成30年度特別養護老人ホーム整備法人公募関係資料一式」に基づき公募概要を説明〕</p>
□会長	<p>続いて、審査、選考の内容について、事業者選考委員会の会長を務めていただいた深沢副会長から、報告をお願いします。</p>

発言者	内容
□副会長	<p>特別養護老人ホーム運営法人の公募に伴う選考について、その結果を報告します。</p> <p>当公募に応募があった法人に対し、事務局である高齢者福祉課にて、応募書類による1次審査とヒアリング採点以外の2次審査をし、さらに7月26日、私を含めた当懇話会6名の委員から構成される「事業者選考検討会」を開催し、2次審査のヒアリング、質疑による評価、採点を実施しました。</p> <p>資料2-2にはヒアリング評価を除く審査及び評価内容を、資料2-3には事業者選考検討会によるヒアリング評価を加えた最終的な評価結果をそれぞれ法人ごとに掲載しています。結果は資料2-3のとおり、特別養護老人ホームの創設においては社会福祉法人ユーカーリ優都會を、増築においては社会福祉法人壮健会を候補者として選考しました。</p> <p>この事業者選考検討会による選考結果について、資料2-4のとおり、懇話会の意見として市長に報告したいと考えています。</p> <p>報告は以上です。</p>
□会長	<p>では最後に、今後の手続き等について、再度、事務局からお願いします。</p>
○高齢者福祉課（平岡）	<p>今後は、報告していただいた事業者選考検討会における選考結果を市長に報告したのち、市として選考法人を最終的に決定したいと思います。</p> <p>選考された法人は、「平成31年度老人福祉施設整備要望書」を、本年9月14日までに千葉県に提出します。市からは「施設整備事業者選定に係る意見書」を県に提出し、施設整備の必要性や佐倉市高齢者福祉・介護計画との整合性、当該法人が選定された経緯等を説明します。県は、これらを踏まえ、選考された法人と協議し、整備計画を進め、選定された法人は、平成31年度から整備を開始し、平成32年度末までの開設を目指すこととなります。</p> <p>今後の事務手続き等に関する説明は以上です。</p>
□会長	<p>ただいまの説明に対して、ご意見やご質問等がありましたらお願いします。</p>
□C委員	<p>そもそも現在あるところで人手は足りているのですか。届けをする時点でこれだけの雇用をしますという届けはするのでしょうか。届け出をした後の定員のチェックは、今ある施設でもやっていますか。また、今後新しくできる施設もやっていくのですか。</p>
○高齢者福祉課（平岡）	<p>人員基準がそれぞれ施設の類型ごとに決まっていますので、その人員基準に沿って事業が運営されているか、県のほうで定期的に確認しています。また、今回の事業者選考においては、やはり100人なり50人のプラスとなるため、それを支える雇用等の計画は法人から説明を聞いています。</p>

発言者	内容
□C委員	<p>特養などで、ベッド数は余裕があっても人が足りなくてクローズしているところがあると聞いたのですが、そういうことはありますか。新しくつくってもそれが繰り返され、あとで大変なことになるのではないかと思います。</p>
○高齢者福祉課（平岡）	<p>他市や他県でそのような状況があることは承知していますが、佐倉市内で、人手が足りないから定員数まで入れられない、運営できない状況にあるといった事業所は、現時点ではないと承知しています。</p>
□B委員	<p>2点気になる部分があり、1つが、今回の応募以外に過去3年ぐらいの他市への応募状況とその採択の数、採択された場合の建設予定とか費用とか、その辺も提出させた方がよかったのではないかと思います。</p> <p>2つ目は前回も話が出ましたが、調整区域の取り扱い、同じ調整区域内でもさまざまあるでしょうから、その扱いを検討してもらえればと思います。</p>
□D委員	<p>先ほどの人員の件ですけれども、佐倉市ではなく別の市なのですが、海外の方の雇用を検討している特別養護老人ホームがあるそうなのですが、佐倉市でもやはり海外の方の雇用というのは増えていますか。</p>
○高齢者福祉課（平岡）	<p>市内の状況については、こちらで把握している限り、検討段階あるいは社内で別の仕事に就いてもらっているというところはあるけれども、直接介護している方、例えばEPA等の制度を使って積極的に従事しているところはまだないようですが、今回申請を提出された法人からも、そういった話がありましたので、今後出てくる可能性はあるかと思っています。</p>
□D委員	<p>それについて補助金ってあるのですか。海外の方の雇用に関して、すごくお金がかかるということ、ほかの市なのですが施設の方から聞いていて、ひとり連れて来るのに100万円くらいかかる、住まいの準備も必要でこれから寮をつくるなどの話を聞いています。補助金とかがないとありがたいとの声もあるようなのですが、佐倉市では検討したりしないのですか。</p>
○高齢者福祉課長（小林）	<p>海外の方をどう雇用していくのかというのが、私どもも勉強不足でわからない部分もあるので、今後の検討課題であるとは認識しています。</p>
□D委員	<p>宗教的に身に着けて巻いているものを、施設の方から取れと言われたこともあるとの話を、海外の方から聞いたりして、施設ごとにやり方があると思うのですが、これを巻いていると、お迎えのように捉えられるからはずしてと施設で言われ、差別だと感じたとの話を聞いたりすると、難しいなと思いましたが、施設の現場でそういうことがあるのでしょうか。</p>

発言者	内容
□B委員	<p>今後、外国人の雇用の問題はどうしても考えていかなければいけないのだろうと思います。いま、私どもの施設でもフィリピンの方が1人、韓国の方が1人いますけども、ともに日本に10年以上いらっしゃる方で、言葉の問題もほとんどなく勤めています。これから、N3とかN4とかというレベルの方を採用し、多額の費用がかかり、給与も同じように払うことになる。介護ロボットの問題もそうですが、現実的にはまだまだ遠いのかなという気がします。あくまで試行的に2名ぐらい雇うことになるのかと思っています。</p> <p>ただ、その前に、日本人の日本人による日本人のための介護ということで、家にいらっしゃる方、60歳以上で仕事したいけど一般企業での働き口はまだ少なく、働いていないお元気な方がまだまだたくさんいるのでそういう方や、子育てされている方をもっと掘り起こして、介護サポーターという名前まであるぐらいなので、そこにももう少し力を入れたいと考えています。</p>
□E委員	<p>このAとBの事業者の違いが、駅・バス停からの直線距離、および公共施設等の利便性、この2つでだいぶ差が付いていますね。私は利用したことがないので、それがどれくらい重要かわからないですけども、利用者とか施設を運営している方としては、これだけの差がついても仕方ないぐらい重要な点だという評価なのでしょうか。</p>
○高齢者福祉課（平岡）	<p>例えば、公共施設や公共交通機関から遠い場所だと、職員の通勤、あとは求人についても多少差が出てくることは否めないと思います。また、ご家族が面会に来やすいかどうかということもありますので、一定の評価の中に入れておくべきことと考えました。なお、先ほど委員からのご意見にもあったとおり、調整区域の中でも段階をもう少し細かくするといった部分については、今後の課題だと思っています。</p>
□F委員	<p>今回、交通の不便のところに大きな特養を建てるとの提案がありましたが、佐倉市では地域密着の小規模の特養という考え方はないのでしょうか。</p>
○高齢者福祉課（平岡）	<p>前回の第6期計画では、小規模の地域密着型特別養護老人ホームの整備を重点的に計画したのですが、やはり介護報酬やスケールメリット等の理由から、進出する事業者が少なかったという課題があり、今回、市街化の近隣の事業者に手を挙げていただいたということもありましたので、現実的に、地域密着型の特養は、今期では難しいと判断しました。</p>
□会長	<p>それでは、だいぶ意見も出ましたので、次の議題にいてもよろしいでしょうか。</p>

発言者	内容
□会長	では、続きまして、議事（３）、「小規模多機能型居宅介護事業所の指定について」、事務局から説明をお願いします。
○高齢者福祉課（平岡）	介護給付班の平岡です。小規模多機能型居宅介護事業所の指定について説明します。 〔資料３「小規模多機能型居宅介護事業所の指定について」に基づき説明〕
□会長	ただいまの説明に関して、ご意見、ご質問等はありませんか。 資料１のところでは、計画値と比べて実績がかなり低くなっていますが、緊急避難的な意味も含めてということになるのでしょうか。
□Ａ委員	第６期のときに承認した西志津の施設ができるのはいつですか。
○高齢者福祉課（平岡）	来年の９月です。
□Ａ委員	それができるのが９月ですね。いま廃止したところはどこですか。
○高齢者福祉課（平岡）	眞榮の里とひまわりの里が、廃止になりました。
□Ａ委員	そうすると、地域密着型の介護老人福祉施設を運営している市内事業者というと眞榮の里でしょう。
○高齢者福祉課（平岡）	そうです。ただ、譲渡されて別法人になりましたので、地域密着の特別養護老人ホームは「千年希望の杜佐倉」となり、実際に譲渡を受けた新しい社会福祉法人慶宗会が、既存の施設を受け継いでいます。
□Ａ委員	なるほど。全然違うところじゃなくて、同じ施設で、新社会福祉法人で指定を取り直しますって意味ですね。どこだろうなって思ったのだけど、わかりました。
□会長	審査は、先ほどの特養と同じようにするのですか。
○高齢者福祉課（平岡）	もし今回指定をすることが可能ということでしたら、公募はしませんので、実際に基準に合致しているかということです。
□会長	これからということですね。
□Ｆ委員	廃止の原因というのは何ですか。

発言者	内容
○高齢者福祉課（平岡）	真栄会については、民事再生を開始したという本体の経営上の問題がありました。また、ひまわりの里については、利用者の伸びが少なかったということで、夜勤者の配置が難しかったと伺っています。
□F委員	同じところですけども大丈夫かと、経営の問題があって替わったけれども、同じようにならないかと心配にはなります。
□G委員	定員のことなのですが、通い18人はわかりますが、宿泊7人ってお部屋もう少しあったような気がしたんですけども、このくらいでしたっけ。
○高齢者福祉課（平岡）	はい。
□会長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>では、皆さんの意見を踏まえつつ、整備に向けた手続きや準備を進めていただくようお願いします。</p> <p>それでは、これまでの議事について、振り返って何かご意見、ご質問ありましたら、お受けしたいと思いますが、何かありますでしょうか。</p>
□H委員	議事（2）のところの2法人の比較ですが、計画として出されて、それについてヒアリングしているのでしょうか、ものすごく2つの法人で差が出ているのですけども。計画の作成段階で、事業者側はある程度こういうことができますくらいの希望的観点で書いてくるのではないかと思います。それでもなおかつ、これだけ差が出るというのは何かあるのですか。ヒアリング技術とかそういうのもあるのかもしれないけど、申請するほうにしてみれば、やろうと思っているので、もっと充実した内容が書けるのではないかという気がするのですけども、どうなのですか。
□会長	点差が大きいのはなぜかと。
○高齢者福祉課（平岡）	おそらく点差が開いた部分については、特に大きいのが6番と7番、地域との連携、地域貢献の部分が大きいと思います。この部分がどれだけ具体的なのかということ、今回の場合に限って言えば近隣との連携状況で具体的なものが見えるか見えないか、あとは近隣の方がどれだけいるかという部分も含めて、差がついてしまったのではないかと考えています。
□H委員	地域との連携もそうだけれども、3番の利用者の処遇について、100点満点の答えも書けると思うのですよ。それでもなおかつ、こんなに差が出るというのはなぜなのかなと。

発言者	内容
<p data-bbox="167 212 295 246">□E委員</p> <p data-bbox="167 347 359 436">○高齢者福祉課（平岡）</p> <p data-bbox="167 638 295 672">□H委員</p> <p data-bbox="167 728 263 761">□会長</p> <p data-bbox="167 873 359 963">○高齢者福祉課（平岡）</p> <p data-bbox="167 1064 263 1097">□会長</p>	<p data-bbox="395 212 1430 291">本社の所在地が東京と佐倉とで違うというのが、そういう地域貢献とかには関係ないですか。</p> <p data-bbox="395 347 1430 582">あくまでも提案された事業所の所在地と、あとは、例えば具体的にどのようにボランティアを受け入れるか、活用していくか、地域との交流にどのようなものを想定しているか、事業計画でもどのように反映されているかというところで、各委員がそれぞれの立場から点数をつけていただいたというのが、今回の採点だと思います。</p> <p data-bbox="422 638 1093 672">単純に疑問に思っただけですので、わかりました。</p> <p data-bbox="422 728 1125 817">ほかに何かありませんでしょうか。 では、事務局から、何か報告があればお願いします。</p> <p data-bbox="395 873 1430 1008">資料1-2で配布した表に2カ所訂正がありました。申し訳ありません。 次回でも、この内容について気になった点などありましたら、ご意見をいただければと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p data-bbox="395 1064 1430 1153">それでは、これにて本日の議事は、これですべて終了とします。ありがとうございました。</p>
<p data-bbox="167 1220 359 1310">○高齢者福祉課長（小林）</p>	<p data-bbox="395 1220 1430 1299">岩淵会長におかれましては、議長をお務めいただき、ありがとうございました。</p> <p data-bbox="395 1310 1430 1444">次回以降の開催については、年度内にあと2回程度を予定していて、次回は11月～12月頃に開催できればと考えています。決定し次第、お知らせをさせていただきます。</p> <p data-bbox="395 1456 1430 1534">それでは、これにて、「平成30年度第2回佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会」を閉会させていただきます。ありがとうございました。</p>